

# 教育ボランティア報告会が行われました！

教育ボランティア通信 No.53

12月6日(水)の4限目にN-11,12教室で教育ボランティア報告会が行われました。多くの学生が参加し、活発な意見の出るとても有意義な会となりました。報告会前半では学生運営委員長の村田実希さん、教育ボランティア委員会委員長の志村結美先生、からお話しをいただいた後、科学教育コース4年の井口雄月さんから教育ボランティアの体験発表をしていただきました。



教育ボランティア体験発表の様子

後半には校種ごとランダムに割り振られたグループで、「教育ボランティアで学んだこと」というテーマに基づい

てディスカッションを行いました。各学年が入り混じっての討論であったためそれぞれの着目する視点や得られた経験が異なり、悩んだことに対して教育実習を終えた先輩からアドバイスを受けている姿も



見られました。協議内容としては「低学年と高学年で声掛けに差があることの難しさ」など、多くのグループに児童・生徒への声掛けに関する記述があったことが印象的でした。

また「教室にとどまることが難しい生徒の対応」や「生徒にとっての困難さとその支援」など、実際の教育現場でしか得ることのできない経験をしたという記述が多数あり、教育ボランティアのもつ価値の大きさを感じた人も多かったのではないのでしょうか。

大学で学んだことが現場で通用するとは限りません。完璧に実践できる人はいません。だからこそ実際に働かれている大先輩方を間近で見させていただきながら、自身をスキルアップしていく必要があるのです。教育ボランティアは大学時代に経験できるその数少ない絶好の機会と言えます。この経験を糧とし、教育者としてさらなる成長ができるよう普段の精進を重ねていきましょう！